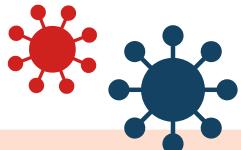




HIVとエイズとは？

- HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、病原体から体を守る役割を持つヘルパーT細胞(白血球の一種)を攻撃するウイルスです。一度体内に入ると、完全に排出することはできません。
- エイズ(後天性免疫不全症候群)は、HIVに感染している状態が長期間続くことで、免疫機能が徐々に低下し、発症する病気です。



HIVの感染経路は？

- HIVの主な感染経路は、性的接触、血液(輸血や針の共有)、母子間の感染の3つです。
- HIVは日常生活や仕事の場ではうつりません。

～主な感染経路～



性的接触

血液感染

母子間

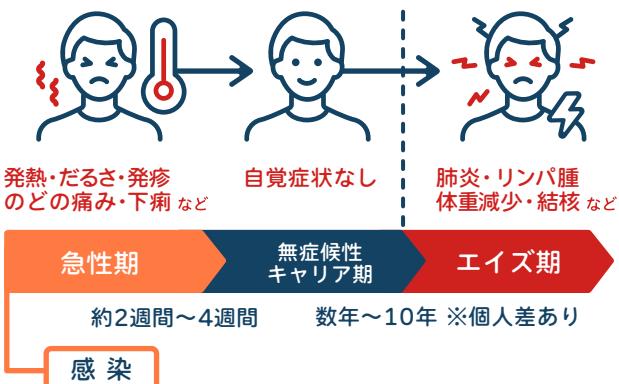
職場と HIV感染症/エイズ 正しい知識を身につけましょう

正しい知識を！

HIV感染症は「死の病」ではなく、適切な治療によりコントロール可能な慢性疾患です。多くのHIV陽性者が治療を続けながら健康を維持し、職場で活躍しています。誤解や思い込みは当事者を傷つけ、職場環境にも影響を与えます。正しい知識を身に着け理解を深めましょう。



HIVに感染してからエイズを発症するまでの流れ



HIVの症状は？

急性期・無症候性キャリア期・エイズ期の3つの段階があります。

- 急性期**：まず、感染後約2～4週間で、発熱、胸部の発疹、喉の痛み、倦怠感、下痢などの症状が現れることがあります。通常は数日から数週間で自然に治ります。
- 無症候性キャリア期**：急性期を過ぎると、次に症状が現れない無症候性の時期が数年から10年程度続きます。
- エイズ期**：治療を受けずにいると、最終的にエイズを発症し、免疫機能が著しく低下します。その結果、健康な人では通常発症しないような病原体による感染症やがん、神経障害など、さまざまな病気にかかりやすくなります。

HIVの検査を受ける時期は？

- 感染の可能性がある機会から3ヶ月以上経過してから検査を受けることが推奨されています。
- 保健所での検査では、約5mL（小さじ1杯程度）の採血でHIVの有無を確認します。



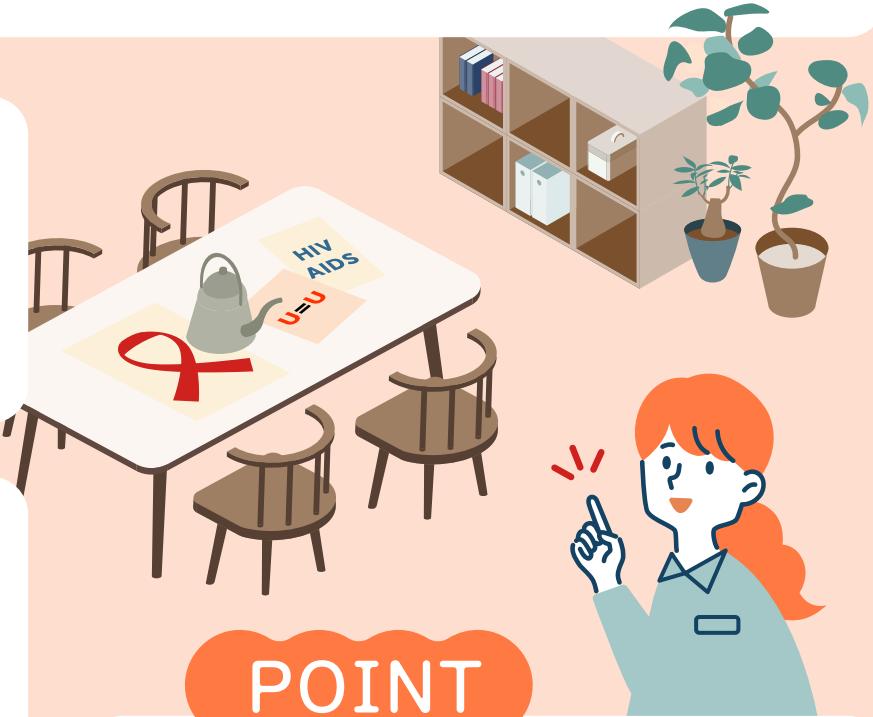
HIVはどのように治療するの？

- 多剤併用療法が基本で、2種類以上の抗HIV薬を組み合わせて使用します。最近では、1日1錠の合剤や1～2ヶ月に1回の筋肉注射も選択肢として利用できます。
- 治療を一度始めたら服薬を継続することが大切です。途中で中断すると薬が効かなくなる可能性があります。
- 治療を続けることで仕事を含む通常の生活を送ることが可能ですが、ただし、HIVを完全に排除することはできないため、約3ヶ月に1回の定期診察で治療状況を確認します。



HIV関連の支援制度はあるの？

- 身体障害者手帳**：HIV陽性者は、免疫機能障害として身体障害者手帳を申請でき、医療費助成や所得税の控除などの支援を受けることができます。医療費助成によって、医療費の自己負担は月額0～2万円に軽減されます。



POINT

職場で「私、HIV なんです」と告げられたら？

- 信頼して話してくれたことを尊重し、その情報を本人の許可なく他者に伝えないことが極めて重要です。HIV陽性であることを理由にした差別は、人権を侵害する重大な問題であり、職場としてそのような状況を防ぐ責任があります。
- HIV陽性者を特別視するのではなく、職場の仲間として尊重し、誰もが安心して働ける環境を整えることが大切です。

U=Uとは何ですか？

- 国際エイズ学会やアメリカ疾病予防管理センターでも広く提言されている、「抗HIV治療でHIVウイルス量の検出限界未満(Undetectable)が最低6ヶ月以上続いている人は、コンドームなしで性行為をしても一切、HIV感染をさせない(Untransmittable)」という科学的根拠に基づいた概念です。HIVに関する差別や偏見をなくすために必要な知識です。